

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和七年二月十日発行（毎月一回十日発行）
定価 五〇〇円

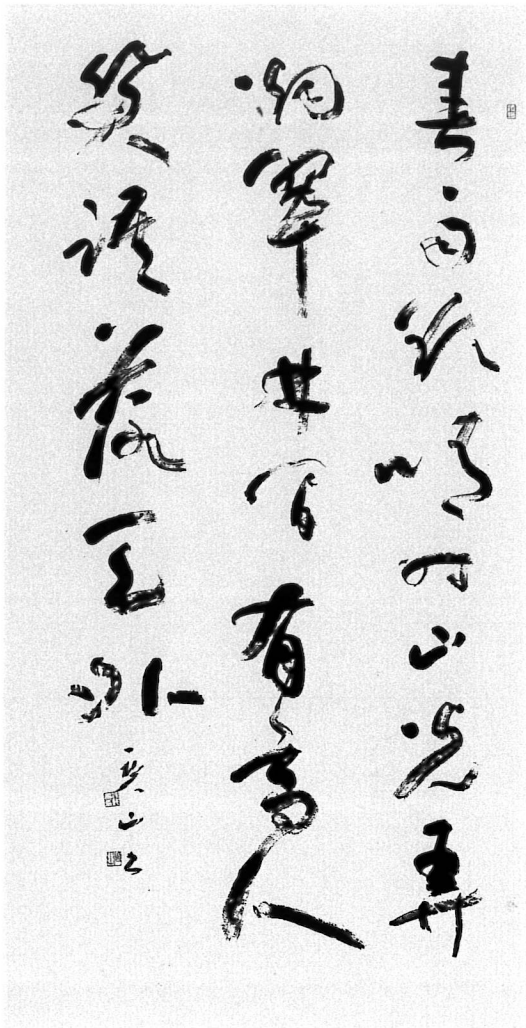
第1001号

第八十一卷

3
月号

高知
龍跳書道会

北代碧山書



春雨欲晴時山光弄姻翠林間有高人笑語落天外

擬山園帖第一

王鐸

王鐸（一五九二—一六五二）は河南孟津の人。字は覺斯、齋号を擬山園などと称した。天啓二年（一六二三）三十一歳で進士に合格。文辞に巧みであつたので、庶吉士・翰林院編集を授けられた。

書は晋唐の古法帖、とりわけ王羲之・献之父子を法とし、原帖を手掛かりとして表現の上に独自の工夫を重ね、情熱や意気そのままに激しい筆を紙本（紙面）に走らせた。「この書卷は」運筆が確かであり、氣迫充実した風格を示しているので王鐸学習にはこのうえない法書である。

擬山園帖第一
ぎざんえんちよう

王 鐸
おう たく

玉書過箕山齋同
 魯齊彥甫鳴諧和
 歌吹簫洞弦天气不
 嚴沍解衣襲磚日
 薄莫興趣勃然
 書數綾幅頗不惡
 何也有媿姬絜集

玉書過箕山齋。同

魯齊彥甫鳴諧和

歌吹簫調絃。天气不
(氣)

嚴沍解衣襲磚。日
(絜)

薄莫興趣。勃然
(興)

書數綾幅。頗不惡、

何也有媿姬絜集

塚地桂峰臨

(草書千字文)

牧用軍取精宣威沙漠馳譽丹書九

牧用軍取精宣威沙漠馳譽丹書九

道純岩丹書九

弘田賀峰書

弘田賀峰書

山中春已晚處處見花稀明日來應盡林間宿不歸

山中春已晚處處見花稀明

日來應盡林間宿不歸

如左
峰云

梅
川
桂
龍
書

帆 海
遲 闊
孤

海
闊
し
て
孤
帆
遅
し

梅川桂龍書

白日行
欲暮

白日はくじつ行ゆくゆく暮ぼれんと欲ほし

福
原
曉
雲
書

春
色
酒
よ
り
も
濃
や
か
な
り

春色酒よりも濃やかなり

福原曉雲臨

何也有嫩姬

何也有嫩姬

中平美峰書

黃河出崑崙沙為岸白
子仲逐柳白梅

美峰書

江西澄翠書

歲晚山中雪
寒窗梧底秋

澄翠書

大石千施臨

我皇福臻同二儀之
固似見御製衣象經論

千施臨

大原桂園臨

今人志於悅世為
尔不信之云不

桂園臨

周存六代媯滿繼棠建國
于陳運完沮齊寔為陳氏

矢野峰臣

玉書過箕山齋同曾
空產南鳴諧和

大平圭子

二謝面未比面遲詠良
不靜美之安受存心

岩谷紅花

心生枝之机又為子
子惧古之少也也

横田紫秋

精分市程諫所疏
未粒望泉之然

池 芳春

風出雲之書自天翔以
披之閱之心招

中平幸仙

便共存立過尔隙壞二恐及
身明天子忽零電念怒

藤原朱鳳

已久遠同起善提七
世母級普踏解

津野惠泉

願言梓材青碧殊為世寵
隨珠和璧美笑同妍

川崎志津

薄莫娛趣動於書
數凌幅頗不惡

坂本碧香

条幅当選作品 梅川桂龍 選評

★天位

矢野峰臣君 墨量豊かで落ち着きある作。

大平圭子君 安定した筆致で好感の作。

岩谷紅花君 筆力充分。迫力を感じる。

横田紫秋君 大胆な動きで迫りくるものあり。

池 芳春君 手慣れた筆致で、墨量の変化も見どころあり。

★地位

中平幸仙君 素朴な臨。淡々として落ち着きあり。

藤原朱鳳君 多字数を萎縮せず書いて見応えある。

津野恵泉君 全体に良く流れていて、さわやかな作。

★人位

川崎志津君 良く勉強され素直な臨に敬服。

坂本碧香君 なかなかの運筆です。ゆつたりとした所があれば更に良い。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)
▷ 次回審査会 ◁

2月の審査は23日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

※審査会終了後、錬成会を行いたいと思います。
課題は本誌1頁の「擬山園帖第一(王鐸)」です。多くの方の
参加を望みます。なお、筆はご持参下さい。(参加費500円)

抱 大
け 志
を

中学一年課題
廣末幽念書

寫記
真念

3月20日縮切

学
試
力
験

3月20日締切

小学五年課題

隅田亘心書

見工
学場

3月20日縮切

の山
美水

小学三年課題
大原桂園書

ど若

りみ

3月20日締切

らく

3月20日締切

小学一年・ようち・ほいく課題

大八木洋女書

はる

3月20日縮切

学校名							
級段	六年						
氏名							
	リ	ま	製	と	ん	プ	
	サ	す	品	し	と	ラ	
	イ	。	に	て	回	ス	
	ク	こ	作	新	収	チ	
	ル	れ	り	し	す	ツ	
	と	を	か	い	れ	ク	
	い	プ	え	プ	ば	ご	
	い	ラ	る	ラ	。	み	
	ま	ス	こ	ス	そ	は	
	す	チ	と	チ	れ	。	
	。	ツ	が	ツ	を	。	
		ク	で	ク	原	き	
		の	き	の	料	ち	

学校名						
五年						
級段						
氏名						
	か	か	た	ツ	く	寝
	ら	り	。	ド	は	る
	動	を	ぼ	が	明	時
	か	消	く	起	か	間
	な	し	は	き	り	に
	な	、	、	て	を	な
	か	ス	起	、	消	っ
	っ	イ	き	明	した	た
	た	ツ	上	か	た。	の
	。	チ	が	り	。	で
		の	っ	を	エ	、
		そ	て	つ	ル	ぼ
		ば	明	け	ダ	
			明	け	ダ	

学校名	き	わ	こ	あ	い	
	合	た	と	り	を	言
	い	し	も	ま	伝	葉
四	方	た	昔	す	え	に
年	の	ち	か	が	た	は
	一	と	ら	「	り	、
級	つ	の	、	楽	す	考
段	で	大	言	し	る	え
氏	し	切	葉	む	働	た
名	た	な	と	む	き	り
	た	付		し	が	思
	。			」		

学校名	と	と	は	研	き	
	が	く		究	あ	ウ
三	分	べ	お	し	り	イ
年	か	つ	し	て	の	ル
級	り	の	り	み	体	ソ
段	ま	の	の	ま	の	ン
氏	し	え	と	し	仕	は
名	た	き	こ	た	組	は
	。	を	ろ	。	み	は
		出	か	あ	を	た
		す	ら	り		ら
		こ				

がっこう	つ	じ	原	ン	中
	て	や	が	ゴ	国
二		牛	が	ル	の
ねん	く	や	が	に	北
だ	ら	馬	つ	は	の
き	し	な	て	、	方
ゆう	て	ど	、	広	、
な	い	を	ひ	い	モ
まえ	た。	か	つ	草	

がっこう	る	の	し	
	い	り	り	あ
一		ま		き
ねん	た	し	た	に
だ	ね	た	ね	は
きゆう	で	。	が	、
なまえ	し	ま		び
	た。	あ	み	っ

がっこう				
ほねん	お	お	お	そ
	ね	に	め	つ
だきゆう なまえ	え	い	で	え
	さ	さ	と	ん
	ん	ん	う	

令和7年度 事業計画予定表

月 日	時 間	行 事	場 所	室
1月26日(日)	9:30~12:00	1月審査会	高知会館	
2月23日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	2月審査会 書道錬成会	高知城ホール	やまもも
3月2日(日)	9:30~15:00	春季昇段級試験 準備・試験 (慰労会)	高知城ホール	やまもも 小会議室
3月23日(日)	9:30~12:00 審査会終了後	3月審査会 総務会	高知会館	
4月27日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	4月審査会 龍跳展下見会	高知城ホール	やまもも
5月25日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	5月審査会 龍跳展下見会		
6月22日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	6月審査会 錬成会	高知城ホール	やまもも
7月7日(月) 7月8日(火) ~13日(日) 7月13日(日) 7月13日(日)	9:00~12:00 9:30~17:00 最終日15:00まで 15:00~ 16:00~	龍跳展搬入 第68回龍跳展 搬出 龍跳展慰労会	高知県立美術館 高知城ホール	 やまもも
7月27日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	7月審査会 県展出品作勉強会	高知城ホール	やまもも
8月24日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	8月審査会 県展出品作勉強会	高知城ホール	やまもも
9月7日(日)	9:30~15:00	秋季昇段級試験 準備・試験	高知城ホール	やまもも 小会議室
9月21日(日)	9:30~12:00	9月審査会	高知会館	
10月26日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	10月審査会 錬成会	高知城ホール	やまもも
11月23日(日)	9:30~12:00 13:00~15:00	11月審査会 錬成会	高知城ホール	やまもも
12月21日(日)	13:00~15:00 15:00~17:00	12月審査会 新年試筆作品提出 忘年会	高知城ホール	やまもも



(一・二段目) 前田秀華 選評
 緑堂君 無理なく筆が伸びている。
 澄翠君 凜然として品格あり。
 皓月君 清澄な筆致で墨色も佳。
 令泉君 丁寧で安定しています。
 喜泉君 伸びやかで温和な作品。
 清園君 筆に躍動感あり。

(二・三段目) 中平美峰 選評
 秋桜君 伸びやかで、バランスの良い作品です。
 真理君 線質、墨色共に佳。
 恵泉君 線に味良く明るい作品。
 康華君 線にメリハリがあり、凛としている。

恵子君 堂々としておらかな作。
 (三・四段目) 西山極山 選評
 美那君 線に強さを感じる。
 律子君 線はよく伸び動きが大きい。
 美草君 まじめな作品。良くまとめている。

美枝君 この段の人でないと思う。
 次回が楽しみ。
 明美君 用筆に気配りできている。
 知加君 のびやかに書けているが、行間をとって下さい。

(四段目) 西山極山 選評
 志津君 今月は文字が大きく、見応えあり。
 美知子君 良くまとめている。
 悦枝君 線にメリハリつけ明るい。

不講一
別趨

舉孝廉
忒威

魚歷郡
右職

岳橋台
物我

嚴江解

岳橋台

岳橋

嚴江解

衣聚

物我

物我

衣聚

嚴江解

省憲

歌吹蕭

榮者

衣聚

益庫

調弦

千光

天清一

隋及

同魯

嚴江解

鴈遠

國家

老甫

衣聚

嚴江解

留江

一心斯

岳橋台

衣聚

台才

有恒

物我

(一・二段目) 福原曉雲 選評
澄翠君 生氣ありて、明るく老練作。
賀峰君 じっくりと線が沈み氣韻が
ただつてゐる。これに細線
を入れたい。

洋堂君 変つた擬山園帖だが、明る
く手馴れた作品。

廣峰君 氣力を前面に訴えてくる作
眉州君 筆先をすまるとく使い、メリ
ハリを付けたすばらしい作。
仁子君 前者と同じく太細線を入れ、
優しくホツとする曹全碑作。

(二・三段目) 廣末幽念 選評
碧香君 良くこなれた感じ、筆の
扱いがうまい作品です。

悠道君 のびのある良い線で仕上が
つてゐる。

淳君 しっかりと書いた書きぶりで
強く感じる。

英子君 丁寧な運筆で線に深さがあ
る。

仁陽君 やや堅さを感じる。リズム
を大きく。

(三・四段目) 武内美仁 選評
倫子君 堂々とした作。見応えあり。
美那君 明るくよく筆が動いてゐる。
明美君 澄みきつた線で、よく伸び
てゐる。

伸枝君 ゆつたりと五字が納まつて
余裕の作。

美枝君 重厚な線で手慣れた作。
美香君 氣力充実で章法も巧みであ
る。

(四段目) 武内美仁 選評
千賀君 軽妙な筆致で快心の作。
美知子君 澄みきつた線で美しい。
斗子君 規模大にして、線も強い。

小六 文流化 文流化 の初出日 のう花め	冬假期 文流化 の初出日 の初出日	冬假期 文流化 の初出日 の初出日	冬假期 文流化 の初出日 の初出日	人類の幸福 文流化 の初出日 の初出日	人類の幸福 文流化 の初出日 の初出日
----------------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	------------------------------	------------------------------

(二段目) 中学部
岡林邦心 選評

風 君 〓 明るい作品です。

茉莉君 〓 引き締まった作品です。

風葵君 〓 ていねいに書けているが「暇」五角目が残念です。

乙羽君 〓 伸びやかに書けているが「期」と「暇」をもう少し上に書くといい。

杏実君 〓 きびきびとした作品です。

(一・二・三段目) 小学六年 佐々木港花 選評

陽菜君 〓 落ち着いてよく書いています。

綜 君 〓 紙質のせいか少し荒れています。

風佳君 〓 ていねいに書いています。

嘉奈子君 〓 ていねいによく書けました。

仁貴君 〓 落ち着いて書いています。

来夢君 〓 もう少し元気に。

美結君 〓 一生きんめいに書いています。

聖愛君 〓 良い作品です。

(三・四段目) 小学五年 深瀬緑堂 選評

リサ君 〓 元気よくて力強い。

菜乃君 〓 伸びやかで明るい。

百叶君 〓 一字一字ていねいに書けている。

改太君 〓 素直に書けている。

希美君 〓 よくまとめている。名前のスペースを考えてさくら子君 〓 力強く書けている。

陽南子君 〓 しっかりした字ですが、もう少しゆつくりと。

璃音君 〓 もう少し強弱を考えて書けば良くなります。

蒼菜君 〓 真面目な作品ですがもう少し力強く。

こころ君 〓 やわらかな線で良くまとめている。

(四段目) 小学四年 河村容舟 選評

実咲君 〓 のびやかに良くまとまっています。

小島 址
川西 辰夫
のう花め

四年 西村 朝陽
のう花め

四年 小松 水鏡
のう花め

四年 小松 水鏡
のう花め

四年 同輩 五年 島村 内雄
のう花め

四年 西村 朝陽
のう花め

三年 毛利 香花
のう花め

三年 田村 約香
きげん

三年 恒成 未葉
きげん

三年 恒成 未葉
きげん

三年 大田 朋希
きげん

三年 大田 朋希
きげん

二年 澤村 智菜
きげん

二年 小松 正生
つた

二年 小松 正生
つた

二年 小松 正生
つた

二年 小松 正生
つた

二年 小松 正生
つた

二年 小松 正生
つた

二年 小松 正生
つた

二年 小松 正生
つた

二年 小松 正生
つた

二年 小松 正生
つた

二年 小松 正生
つた

(一・二段目) 小学四年
康介君 伸びやかな線で良い。

朝陽君 元気に書きました。

美緒音君 力強くいいねいに書きました。

太緒君 明るくよくまとまっています。

蒼馬君 いていねいに書きました。

明利君 素直で明るい。

穂花君 しっかり書いています。

(二・三段目) 小学三年

雪花君 素直に書きました。

紗雪君 ともていいねいに仕上がっています。

未来君 元気良く書いています。

心遙君 のびやかで気持ち良く書いています。

朋希君 元気に大らかに書きました。

郁菜君 じめじめに書いています。がんばって。

(三・四段目) 小学二年

涼君 形よく書いています。

れんたろう君 元気よく書いています。

はるか君 がんばって練習を続けて下さい。

あやと君 落ち着いて書いています。

昇牙君 力いっぱい書いています。

時生君 いていねいに書いています。

(四段目) 小学二年・ようちん・ほいく

のぞみ君 いていねいにかけています。

ゆま君 バランスよくかけています。

とうい君 ちからづよくかけています。

こな君 のびのびとかけています。

あおい君 大きくげんぎにかけています。

佐竹 江月 選評

別役 美佐 選評

萩野 羽花 選評

多ノ郷 森光 陽菜
浦ノ内 矢野 蒼真

私たちは、生活の中で、場面に応じて言葉を選んで使い分けています。話す内容が同じであつても、目上の人に対して話すようなときは、それに応じた言葉を使います。
多ノ郷 森光 陽菜

私たちは、生活の中で、場面に応じて言葉を選んで使い分けています。話す内容が同じであつても、目上の人に対して話すようなときは、それに応じた言葉を使います。
浦ノ内 矢野 蒼真

私たちは、生活の中で、場面に応じて言葉を選んで使い分けています。話す内容が同じであつても、目上の人に対して話すようなときは、それに応じた言葉を使います。
新莊 鍋島 綜

私たちは、生活の中で、場面に応じて言葉を選んで使い分けています。話す内容が同じであつても、目上の人に対して話すようなときは、それに応じた言葉を使います。
長岡 高芝 仁貴

新莊 鍋嶋 綜
長岡 高芝 仁貴

越知 大原 留心
多ノ郷 大城 リサ

私たちは、生活の中で、場面に応じて言葉を選んで使い分けています。話す内容が同じであつても、目上の人に対して話すようなときは、それに応じた言葉を使います。
越知 大原 留心

儀兵衛は、設計や土木工事の専門家ではない。そんな儀兵衛が、百年後にも役立つ堤防を造ったことは、まさに、おどろくべきことであり、偉大な功績である。
多ノ郷 大城 リサ

儀兵衛は、設計や土木工事の専門家ではない。そんな儀兵衛が、百年後にも役立つ堤防を造ったことは、まさに、おどろくべきことであり、偉大な功績である。
附小 江頭 咲良

儀兵衛は、設計や土木工事の専門家ではない。そんな儀兵衛が、百年後にも役立つ堤防を造ったことは、まさに、おどろくべきことであり、偉大な功績である。
長岡 北村 さくら子

附属 江頭 咲良
長岡 北村 さくら子

上分 田邊 璃音
岡豊 中司 ころ

儀兵衛は、設計や土木工事の専門家ではない。そんな儀兵衛が、百年後にも役立つ堤防を造ったことは、まさに、おどろくべきことであり、偉大な功績である。
上分 田邊 璃音

儀兵衛は、設計や土木工事の専門家ではない。そんな儀兵衛が、百年後にも役立つ堤防を造ったことは、まさに、おどろくべきことであり、偉大な功績である。
岡豊 中司 ころ

試合終了直後のシーンを見てみましょう。勝ったチームのおうえん席では、選手とおうえんした人たちが一体となつて勝利を喜び合っています。
長岡 森田 実咲

試合終了直後のシーンを見てみましょう。勝ったチームのおうえん席では、選手とおうえんした人たちが一体となつて勝利を喜び合っています。
浦ノ内 中平 澤里

長岡 森田 実咲
浦ノ内 中平 澤里

長岡 西内 明利
大谷北 大木 陽智

試合終了直後のシーンを見てみましょう。勝ったチームのおうえん席では、選手とおうえんした人たちが一体となつて勝利を喜び合っています。
長岡 西内 明利

試合終了直後のシーンを見てみましょう。勝ったチームのおうえん席では、選手とおうえんした人たちが一体となつて勝利を喜び合っています。
大谷北 大木 陽智

試合終了直後のシーンを見てみましょう。勝ったチームのおうえん席では、選手とおうえんした人たちが一体となつて勝利を喜び合っています。
池川 片岡 亜李紗

ふとんからはね起きると、三年とうげに行き、わざとひっくり返り、転びました。ぬるでの木のかげから、おもしろい歌が聞こえてきました。
須崎 毛利 香花

池川 片岡 亜李紗
須崎 毛利 香花

<p>★三段 岡豊 中司ころ ★二段 別府 後藤 樹</p> <p>毛筆四年 審査 河村 容舟</p> <p>★八段 長岡 森田美咲</p> <p>★七段 小高坂 川西康介</p> <p>★六段 夜須 西村朝陽</p> <p>★五段 吾桑 松坂美緒音 馬路 小松太緒 吾桑 高橋蒼來 須崎 金堂莉李 須崎 津野聖佳</p> <p>★三段 吾桑 吉門蒼馬</p>	<p>★二段 長岡 西内明利 吾桑 宮崎穂花 長岡 小笠原湊 夜須 清藤 蘭</p> <p>★三段 上分 ○中山結愛</p> <p>毛筆三年 審査 佐竹 江月</p> <p>★六段 須崎 毛利香花</p> <p>★五段 須崎 田村紗雪 浦ノ内 正木芳尚</p> <p>★四段 上分 梅原未來</p> <p>★三段 岡豊 島村心遥 多ノ郷 太田朋希 長岡 竹内加菜心 長岡 猪野光騎 長岡 押岡息吹</p>	<p>★二段 多ノ郷 森光梨衣奈 長岡 宮脇治太</p> <p>★初段 吾桑 長山優奈 越知 藤崎華乃</p> <p>★一級 長岡 澤村かな</p> <p>★七級 夜須 ○白石一華 夜須 白石一莉</p> <p>もうひつ二年 審査 別役 美佐</p> <p>★四段 須崎 金堂 涼</p> <p>★三段 多ノ郷 森光連太郎 上分 吉村はるか</p> <p>★二段 しんじょう 中じまあやと 多ノ郷 橋田かほ</p>	<p>上分 はし田一か 吾桑 高橋依吹</p> <p>★初段 岡豊 島村昇冨 岡豊 中司みのり</p> <p>★三級 馬路 ○小松時生</p> <p>もうひつ一年 審査 萩野 羽花</p> <p>★二段 吾桑 松坂望未</p> <p>★一級 吾桑 梅原由菜</p> <p>★新規 岡豊 ○おぎかお</p> <p>★新編入 十級編入 岡豊みたにとうい</p>	<p>もうひつ ようち・ほいく</p> <p>審査 萩野 羽花</p> <p>★初段 上分 なかじまゆいと</p> <p>★一級 須崎こんどうこな ふたば 後藤和葉</p> <p>★八級 野田 ○まつぎあおい</p> <p>★新編入 十級編入 おひさま もりみつひな</p>	<p>硬筆六年 こうひつ 審査 森本 寿山</p> <p>★特待生 多ノ郷 森光陽菜 浦ノ内 矢野蒼真 新庄 鍋島 綜</p> <p>★九段 長岡 押岡風佳</p> <p>★八段 長岡 高芝仁貴 馬路 牛窓環菜 上分 朝比奈来夢</p> <p>★七段 越知 大原留心 長岡 二宮嘉奈子 上分 弘田美結 多ノ郷 森岡快晴</p>	<p>★四段 大谷北 山崎流依 大谷北 大木柚杏 城東 持田和花 須崎 川西桜空 須崎 川西蒼空 馬路 浅野由梨</p> <p>硬筆五年 こうひつ 審査 森本 寿山</p> <p>★九段 多ノ郷 大城りサ 上分 梅原百叶 多ノ郷 松浦結菜</p> <p>★八段 附属 江頭咲良 上分 小松希美 須崎 松田菜乃</p> <p>★七段 長岡 北村さくら子 長岡 宮脇改太</p>	<p>第695回硬筆成績</p> <p>○印は昇級</p>
--	--	---	--	---	---	---	-------------------------------

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

随意

審査 福原 暁雲

★師範

江西澄翠 弘田賀峰 濱崎洋堂 岡林邦心 中平幸仙 矢野峰臣 西山極山 野中恵花 岩河里華 深瀬緑堂 大原桂園 萩野羽花 奥堂皓月 水田紅子 河村容舟 中平美峰

★準師範

小笠原廣峰 田村眉州 西内仁子 氏原美泉 岩崎竹山 松浦明子 戸田孝北 山本恵歩 丸田宏子 天野喜泉

大平圭子

別役美佐

大崎紫陽

西森令泉

桑原智子

高橋桜芳

平井桂草

藤原朱鳳

岡田雄山

森光望春

橋本悦子

田中恵風

吉田深美

池 芳春

山川百合

鎌倉春葉

窪田碧泉

西村芳香

横山桂華

★六段

廣末 幽念

★五段

★五段

坂本碧香 伊吹悠道 岩村 祥 岩谷紅花 下元玉泉 大井 淳 濱田幸子

鈴木輝代

★四段

中澤英子

西岡仁陽

横田紫秋

濱田順子

山崎隆志

高橋翠園

武内 美仁

坪内倫子

杉本美邦

西尾明美

前田伸枝

松坂美枝

市川美香

和田恵美

武内 美仁

尾立千賀

藤田美知津 川口虎之介 小笠原香代 小松悦枝

★二級

○山岡斗子

(出品票)

のり代

7年 3 月 幅

氏

名

臨書は出典名

第896回毛筆成績

○印は昇級

中学部

小学部

審査 岡林 邦心

三年

★特待生

朝ヶ丘 黄之瀬風

二年

★特待生

朝ヶ丘 橋田茉奈

一年

★九段

鷲ヶ池 安井風葵

★八段

池川 藤原乙羽

★三段

仁淀川 藤原杏実

審査 佐々木港花

毛筆六年

★特待生

多ノ郷 森光陽菜

★九段

長岡 押岡風佳

★八段

長岡 二宮嘉奈子

★六段

上分 朝比奈来夢

★三段

別府 庄武聖愛

毛筆五年

審査 深瀬 緑堂

★九段

多ノ郷 大城リサ

★八段

須崎 松田菜乃

★七段

上分 梅原百叶

長岡 宮脇改太

★六段

須崎 小松希美

長岡北村さくら子

多ノ郷 橋田天冴

長岡 竹内陽南子

上分 田邊璃音

★四段

吾桑 梅原蒼朶

岡豊 田所萌羽

★出品票は黒枠をきちんと切つて下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

須崎 田村 紗雪
長岡 竹内かなこ

ふとんからはね起きる
と 三年とうげに行き
わざとひっくり返り 転
びました。ぬるての木の
かけから おもしろい歌
が聞こえてきました。

ふとんからはね起きる
と 三年とうげに行き
わざとひっくり返り 転
びました。ぬるての木の
かけから おもしろい歌
が聞こえてきました。

ふとんからはね起きる
と 三年とうげに行き
わざとひっくり返り 転
びました。ぬるての木の
かけから おもしろい歌
が聞こえてきました。

ふとんからはね起きる
と 三年とうげに行き
わざとひっくり返り 転
びました。ぬるての木の
かけから おもしろい歌
が聞こえてきました。

上ノ加江 吉原 綾人
久礼 黒原 小春

すさき 金堂 涼
上分 吉村はるか

アイロンって船み
たい。けむりを出し
て。おかあさんの水
色のスカートをやっ
くりすすむ。

アイロンって船み
たい。けむりを出し
て。おかあさんの水
色のスカートをやっ
くりすすむ。

アイロンって船み
たい。けむりを出し
て。おかあさんの水
色のスカートをやっ
くりすすむ。

アイロンって船み
たい。けむりを出し
て。おかあさんの水
色のスカートをやっ
くりすすむ。

浦ノ内 徳永 隼斗
ながおか 安井 颯

久礼 岩瀬 渉
あそう まつさかのぞみ

アイロンって船み
たい。けむりを出し
て。おかあさんの水
色のスカートをやっ
くりすすむ。

アイロンって船み
たい。けむりを出し
て。おかあさんの水
色のスカートをやっ
くりすすむ。

アイロンって船み
たい。けむりを出し
て。おかあさんの水
色のスカートをやっ
くりすすむ。

アイロンって船み
たい。けむりを出し
て。おかあさんの水
色のスカートをやっ
くりすすむ。

うらノ内 吉おかまひろ
多ノごう さか本みさき

うらノ内 みや田 い音
うらノ内 てら内かのん

小さな さかな
の きょうだいた
ちが たのしく
くらして いた。

小さな さかな
の きょうだいた
ちが たのしく
くらして いた。

小さな さかな
の きょうだいた
ちが たのしく
くらして いた。

小さな さかな
の きょうだいた
ちが たのしく
くらして いた。

すさき こんどう こな
のだ まつぎ あおい

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代
7年 3月 規定
地 名
氏 名
段
級
のり代
7年 3月 随意
臨 は 出 典 名
氏 名
段
級

須崎 竹内陽南子 長岡 美島希以花 浦ノ内 松山翔 浦ノ内 森田茉優 久礼 森岡 虹 久礼 森岡 虹	★初段 浦ノ内 中田湖音	★初段 越知 西森優奈 久礼 今橋那ノ葉	★初段 久礼 〇西村波琉	★初段 須崎 田村紗雪	★初段 久礼 日林ゆあ 長岡 松山愛凛 吾桑 猪野光騎 吾桑 長山優奈
浦ノ内 山本彩喜 浦ノ内 政岡桃加 上 梅原蒼菜 吾桑 田村拓海 須崎 柳本稀衣 上 柳本稀衣	★五段 長岡 森田実咲 ★七段 小高坂 川西康介 夜須 西村朝陽	★二級 長岡 西内明利 大谷北 大木陽智 長岡 小笠原湊 吾桑 笹岡蒼馬	★二級 池川 片岡亜李紗 池川 北村日和 池川 大原穂乃花	★二級 浦ノ内 池田理人 浦ノ内 藤田彩葉 浦ノ内 山本瑞貴	★二級 長岡 〇澤村郁菜
浦ノ内 須賀勇介 潮見 須賀勇介 岡豊 島村倅空 上 岩田愛菜 岡豊 中司ころ 岡豊 田所萌羽	★四段 須崎 金堂莉李 須崎 津野聖佳 夜須 清藤 蘭 久礼 藤田コモモ 越知 米澤陽翔 吾桑 松坂美緒音 吾桑 高橋蒼来	★一級 奈路 植野 新 久礼 堀田映太 上 中山結愛	★一級 須崎 金堂 涼	★三級 浦ノ内 〇森田海音	★三級 浦ノ内 〇森田海音
浦ノ内 田邊璃音 越知 片岡杏璃 浦ノ内 森田 葵 多ノ郷 橋田天冴	★六段 硬筆四年 審査 江西 澄翠	★三級 馬路 宮崎穂花 上 木下歌乃 上 橋田 陸 久礼 吉門蒼馬 久礼 笹岡玲斗	★三級 須崎 毛利香花 浦ノ内 正木芳尚	★六段 須崎 田村紗雪	★六段 須崎 毛利香花 浦ノ内 正木芳尚
浦ノ内 保田健介 須賀勇介 島村倅空 岩田愛菜	★五段 金堂莉李 津野聖佳 清藤 蘭 藤田コモモ 米澤陽翔 松坂美緒音 高橋蒼来	★二級 須崎 田村紗雪	★二級 須崎 田村紗雪	★二級 須崎 田村紗雪	★二級 須崎 田村紗雪
浦ノ内 須賀勇介 潮見 須賀勇介 岡豊 島村倅空 上 岩田愛菜 岡豊 中司ころ 岡豊 田所萌羽	★四段 須崎 金堂莉李 須崎 津野聖佳 夜須 清藤 蘭 久礼 藤田コモモ 越知 米澤陽翔 吾桑 松坂美緒音 吾桑 高橋蒼来	★二級 須崎 田村紗雪	★二級 須崎 田村紗雪	★二級 須崎 田村紗雪	★二級 須崎 田村紗雪
浦ノ内 須賀勇介 潮見 須賀勇介 岡豊 島村倅空 上 岩田愛菜 岡豊 中司ころ 岡豊 田所萌羽	★四段 須崎 金堂莉李 須崎 津野聖佳 夜須 清藤 蘭 久礼 藤田コモモ 越知 米澤陽翔 吾桑 松坂美緒音 吾桑 高橋蒼来	★二級 須崎 田村紗雪	★二級 須崎 田村紗雪	★二級 須崎 田村紗雪	★二級 須崎 田村紗雪

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
書道用具萬般乞来店

(株) 齋

高知市南宝永町14-18
TEL (代) (882) 1394番
夜間・TEL (882) 1392番

<p>★二級</p> <p>浦ノ内 徳永隼斗 上分 はし田一か 浦ノ内 岡林結花 しんじょう 中じまあやと 久礼 黒原李香 加茂 山岡瑞季</p> <p>★初段</p> <p>長岡 安井 美 久礼 政岡有美 久礼 下谷琴春 池川 北村心暖 池川 上村心晴 池川 中司みのり 池川 伊藤日向 池川 片岡紗雪</p> <p>★一級</p> <p>上上 木村成と 岡豊 島岡昇冨 上上 政岡そうし 奈路 植野 葵 吾桑 鈴木 花</p> <p>★二級</p> <p>長岡 ○金堂こうすけ 須崎 ○谷口きずな 久礼 ○小林奈穂</p>	<p>★三級</p> <p>久礼 ○岩瀬 渉</p> <p>★四級</p> <p>上上 ○大内ゆずの 久礼 近藤みのり</p> <p>★五級</p> <p>久礼 ○加茂みやび 吾桑 ○堅田彩乃 吾桑 宮崎陽香</p> <p>★六級</p> <p>長岡 ○村上こゆ 馬路 ○木下魁人</p> <p>★七級</p> <p>大谷北 ○倉持百花</p> <p>★八級</p> <p>城東 ○丸山颯士</p> <p>★九級</p> <p>長岡 ○大塚もも</p>	<p>こうひつ一年</p> <p>審査 石川 美水</p> <p>★三段</p> <p>吾桑 松坂望未 吾桑 梅原由菜</p> <p>★二段</p> <p>浦ノ内 吉岡まひろ 多ノ郷 坂本美咲</p> <p>★初段</p> <p>浦ノ内 宮田い音 附属 江頭航 浦ノ内 中平ゆう大</p> <p>★二級</p> <p>久礼 ○森岡 紅</p> <p>★四級</p> <p>浦ノ内 ○寺内かのん 佐川 ○井上めい 久礼 ○奈路かなえ 高岡 ○隅田しゅう</p>	<p>★七級</p> <p>岡豊 ○おぎかお 多肥 ○隅田ゆうじん</p> <p>★十級</p> <p>上分 ○橋田果歩</p> <p>★新規</p> <p>十級編入 岡豊みたにとうい</p> <p>こうひつ ようち・ほいく</p> <p>審査 石川 美水</p> <p>★初段</p> <p>上分 なかじまゆいと</p> <p>★一級</p> <p>須崎 こんどうこな</p> <p>★二級</p> <p>ふたば ○後藤和葉</p>	<p>★九級</p> <p>野田 ○まつぎあおい おひさま ○森光莉菜</p> <p>★十級</p> <p>おひさま ○もりみつるな</p>
---	--	---	---	--

中国文房四宝
国産書道用品
久保田号銘筆

有限
会社

樹 筆 堂

〒780-0818 高知市宝永町3-3
TEL (088) 882-1454
FAX (088) 884-7413

お知らせ

★錬成会（条幅作勉強会）
を行います。

— 記 —

※日時 二月二十三日（日）

審査会終了後一時から

※課題は本誌3月号1頁の

擬山園帖第一（王鐸）です。

資格は問いません。一人でも多くの方の
参加を望みます。

（なお、筆をご持参下さい）

（参加料 五〇〇円）

（出品票）

のり代

7年 3月
毛筆

校名

学年
保年

氏名

段

級

のり代

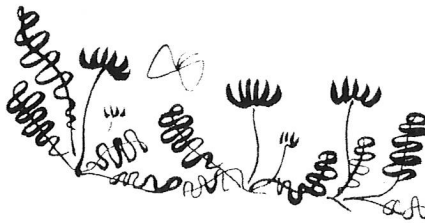
7年 3月
硬筆

校名

氏名

段

級



令和7年度 龍跳競書課題

小一・保	小二	小三	小四	小五	小六	中一	中二	中三・二	臨書参考	随意参考	一般規定	
いか	ふじ	らちか	川山と	小春の	行事校	春色山		水山紫	課題自由	課題自由		四月
みち	あゆ	人形	れ夕ぐ	の五月	習字	都市園		黒潮流	〃	〃		五月
たこ	ろば	安全	り魚つ	な大き	木池の	放学校		風景の	〃	〃		六月
うり	せみ	花火	海広い	の松風	登山士	実不言		学家庭	〃	〃		七月
なつ	ぼん	月光	星北斗	小屋車	野高校	浴海水		大会競泳	〃	〃		八月
そば	むし	夕日	山秋の	高足音	大会育	技科学		表現言語	〃	〃		九月
県展課題決定後に龍跳誌にて発表します。									〃	〃		十月 こども 県展 課題
ふえ	しはや	山里	の文化	の月光	平和界	様式活		紅葉全山	〃	〃		十一月
ゆき	ろだん	大雪	み冬休	北強い	山四国	発表研究		対策健康	〃	〃		十二月
こま	つこた	きげん	のう花め	の初出日	文化交流	休暇冬期		幸福の人類	〃	〃		一月
そら	まだる	小川の	待春を	正大明	時代少年	当給食		話題の日常	〃	〃		二月
はる	らさく	ど若み	の山水	見工場	試験学	写真記念		抱け大志を	〃	〃		三月

春・秋・季 昇段(級)試験申し込み内訳表

申込者氏名 _____

	出 品 料	点 数	金 額	払い込み方法 (いずれかを○で囲む)
師範の部 (春季のみ)	8000円	点	円	現金・為替・振込み
第一 部	6000円	点	円	現金・為替・振込み
第二 部	4000円	点	円	現金・為替・振込み
学生・学童の部	出 品 料	点 数	金 額	払い込み方法 (いずれかを○で囲む)
毛 筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
硬 筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
合計金額			円	

※ 昇試作品に上記内訳表を必ず添付して下さい。 ※グループで送られる方は合計点数で記入して下さい。

※ 師範の部は4体、第1部・第2部は3体を「1点」として下さい。

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田巨心

電話 〇八八九 三五〇九七一

電話 〇八八九 三五〇九七一

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話 〇八八九 八六五八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話 〇八八七 二九一二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話 〇八八九 四二一三〇六七番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話 〇八八九 四七一〇七二二番

あとがき

新年を迎えてから、寒さが厳しく感じます。十二月が暖かかったせいでしょうか？野菜やガソリンの高いこと物価高はいつまで続くやら。

今、お手本を書く練習をしています。解りやすく教えるのにどうやったらよいか、考えながら参考資料を手元に頑張っています。その本の中に作品を書く時の注意点が載っていましたので紹介します。書く前によく構想を練り充分の準備をすることによってよい作品を生むことができます。また、たくさん書くほど手が機械的に動くだけで気力は減退することが多いのです。しかし平素の練習が充実していれば短時間に集中することができます。

堅苦しいことを紹介して申し訳ないですが練習を積みなさいと言う事ですね。

三月の昇段試験も迫っています。インフルエンザ、コロナも高知県で猛威を振るっています。人混みはなるべく避け、うがい手洗い忘れずに。

健康で実り多い一年になりますように。

月例競書課題

保 育	一年	二年	三年	四年	五年	小学六年	一年	二年	中学三年	半紙随意	半紙規定	一般条幅	部 別
	は る	さ く ら	若 み ど り	山 水 の 美	工 場 見 学	学 力 試 験	記 念 写 真	大 志 を 抱 け	任 意	任 意	白 日 行 欲 暮	任 意	縮 切 日
	い か	ふ じ	ち か ら	山 と 川	春 の 小 川	学 校 行 事	江 山 春 色	山 紫 水 明	任 意	滄 波 杳 難 期	任 意	縮 切 日	
													三月二十日
													四月二十日

会費の送金について

会費：半年分 3,000円 / 1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料 (R6.10～)
(幸便搬送の方は〒料不要)

Ⓐ	1冊	180円
Ⓑ	2冊～7冊	210円
Ⓒ	8冊～20冊	430円

21冊以上は次の計算による。

21冊 Ⓒ+Ⓐ= 610円×月数
22冊～27冊 Ⓒ+Ⓑ= 640円×月数
28冊～40冊 Ⓒ×2 = 860円×月数
50冊の場合 Ⓒ×3 = 1,290円×月数

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室
福原 暁雲

野島 桂山

江西 澄翠

中平 美峰

発行人
福原 暁雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

発行所
龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

印刷所
(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八九) 四二一〇二四四

月例作品送り先

〒783-0081 南州市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (〇八八) 86518857